

29. 麻酔博物館 + 国際くらしの医療館・神戸



エアウォーター
国際くらしの医療館・神戸

～日本最大級の医療産業集積地「神戸医療産業都市」～

「すべての人に健康と福祉を」

麻酔の理解を深め、医療次世代事業の革新に触れる



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①麻酔博物館の見学
→徒歩移動約6分→
- 10:40～ ②国際くらしの医療館・神戸
アテンダーによる館内説明
- 11:40～ ③セミナーホールまたは多目的室にて
質疑応答
- 12:00頃 終了

実施場所：麻酔博物館 + 国際くらしの医療館・神戸
実施時間：平日10:00～17:00の間
所要時間：約2時間
実施可能人員：40名程度
(日程により調整が必要です)
実施費用：1,000円/人

『麻酔博物館』

麻酔の歴史とともに麻酔科医の仕事を紹介する日本医学会の中で初めての歴史博物館です。麻酔科医の仕事は、痛みをとることが中心ですが、近年では重症な患者さんの全身状態を管理する領域へと活動の範囲が広がっております。最近では、心電図やパルスオキシメーターなどのモニタ機器が開発され、麻酔科学は発展を続けています。

『国際くらしの医療館・神戸』

エア・ウォーター（株）が人々の健やかな「くらし」を創造する研究・開発拠点として2019年に設立しました。館内は、研究・体験・交流による新たなイノベーションを創造する5つのフロアで構成されています。医療・ヘルスケア・製品開発をテーマとして、主に・歯髄関連事業・8K映像事業・周術期医療事業・医療関連サービス事業の製品案内や解説により、医療分野を学習することができます。

①麻酔博物館の見学

麻酔に関する歴史や麻酔法の進歩を学びます。
(※事前予約の状況により麻酔医師による説明も可能)

②国際くらしの医療館・神戸

歯髄再生治療の取り組み、8K硬性内視鏡による最先端の手術室、滅菌室などを説明を受けながら見学します。

③見学後に質疑応答

約1時間ほど見学した後に、疑問に感じたことや、健やかな「くらし」を創造する為に必要なことなどをグループで話し合い、質疑応答の時間をとります。



29. 麻酔博物館 + 国際くらしの医療館・神戸



学習のポイント

- ① 「麻酔」「くらしの医療全般」を理解する
- ② くらしを創造する研究・開発拠点を見学する
- ③ 自分の生活に置き換えて未来の生活を考察する



学習の流れ（モデル）

